

- 建設業（営業職）
- 主な活動地域：西日本（九州・沖縄を除く）



泉澤 俊希 様 初級

取得ポイント 『建設業≠環境破壊』に繋がる「きっかけ」に。

この資格をどのように活かしていますか？

この資格取得により、仕事の場で「環境再生医とは、どんな資格ですか？」と聞かれることが多くなりました。私の場合、初対面のお客様が多いので、このような「私」への関心をいただける「きっかけ」は、とても重要です。その「きっかけ」から話を広げることで、お客様にさらに興味を持って、本題の技術等の

説明を聞いていただけます。また、この資格が「環境負荷の小さい工法」を売り込んでいる弊社イメージとも上手く繋がるため、会社への信頼性向上にも繋がっていると感じます。



どのようなお仕事をされていますか？

全国其自然公園を中心に、重機を使わない特殊な工法を用いることで、樹木の伐採や掘削等の環境改変を最小限に抑えながら、木道や木橋、ウッドデッキなどの「景観に溶け込む道」を作っています。その中で私は主に、官公庁や建設コンサルタント企業に技術提案を行いながら、難度の高い景観整備事業を実現する担当をしています。

●泉澤様お勤め先
株式会社ラスコジャパン
<http://lasco.jp>



テキストや講習はいかがでしたか？

テキストを読むことで、今まで断片的に学んできた、環境保全への世界的な取り組みや流れなどについて、再認識する機会となりました。また、環境問題の推移などが、大変分かり易くまとめられているので、今後もこのテキストに助けられることが多々あると思います。講習では、様々な立場や年齢の方と、いろいろなテーマで忌憚なく話す機会を得られました。自分とは異なる観点からの意見や、新しい知識に触れることが出来、大変有意義な時間でした。

この資格取得の動機は？

建設業は「重機＋掘削＋コンクリート」といった環境破壊のイメージが強い業界です。そのため、環境系の資格を持つことで、お客様の関心や理解を得ることに繋がるのではと思い、資格取得を決めました。また、私が所属していた大学が、この資格の認定校であることも一因なのですが、大学在籍中に取っておけば尚良かったですね（笑）。

この資格について

「医」のつく資格は少なく、さらに環境系の資格であるため、業界や分野に関わらず、相手の興味を惹きやすい資格だと思います。

